

日曹 **マブリック** ジェット

MAVRIK

登録番号 第16720号

種類名 フルバリネートくん煙剤  
fluvalinate

殺虫剤分類 3A

性状 灰色発煙性中空円板状  
外径65mm 内径20mm 高さ15mm 1個50g

有効年限 4年

有効成分 フルバリネート 15.0%

毒性 医薬用外劇物

包装 (50g×5錠)×10パック×4箱

### ■特長

1. 施設栽培のアブラムシ類・ハダニ類等、広い範囲の害虫に優れた効果があります。
2. くん煙剤なのでハウス内の湿度を高めず、作物の汚れも少なく省力防除ができます。
3. 各種作物に対して安全性が高い薬剤です。



最新の登録内容、  
SDSはこちら

### ■適用害虫名及び使用方法

(2022年12月21日現在)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	フルバリネートを含む農薬の総使用回数	使用方法	
みかん	温室、ビニールハウス等 密閉できる場所	ミカンハダニ	くん煙室容積 400m <sup>3</sup> 〔床面積200m <sup>2</sup> 〕 ×高さ2m 当り	100g	2回以内	2回以内	くん煙	
		アブラムシ類		収穫21日 前まで				
メロン		ハダニ類		50g				収穫3日 前まで
なす すいか きゅうり		ハダニ類		20g				収穫前日 まで
いちご ばら カーネーション		アブラムシ類		50g				発生初期
花き類・ 観葉植物 (カーネーション、 ばらを除く)		アブラムシ類						

### ⚠ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 温室・ガラス室・ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満ち足りて行きわたるようにしてください。
3. くん煙する場合は、添付のつり具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さでつり下げるか又は不燃性の台などの上のせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用してください。
4. 点火は以下のとおりに行ってください。
  - (1) 点火紙を用いる場合  
同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火してください。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置してください。
  - (2) 電気式点火・くん煙装置を使用する場合  
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。  
点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置してください。
  - (3) 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

5. 点火後は、発煙を確かめたら、直ちに退室し、室を密閉し、少なくとも4時間、できれば15時間開放しないでください。
6. 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないでください。
7. みかんのハダニ防除には、残効が短いことがあるので発生初期に使用してください。
8. 定植直後又は幼苗・軟弱徒長苗等には薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
9. 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、なるべく夕方温度が下がってから行ってください。
10. 蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園のあるところでは使用しないでください。
11. 室内に観賞魚、小鳥類を置いてある場合は、くん煙前に他へ移してください。
12. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
13. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

#### ▲ 安全使用上の注意

14. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
15. 眼に対して刺激性があるので、煙が眼に入らないように注意してください。眼に異常を感じた場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
16. 点火の際は、防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、煙を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
17. のど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、またかゆみを生じる場合があるので注意してください。特に煙を吸い込むと、激しくせき込むので吸い込まないように十分注意してください。
18. 呼吸器官の弱い人、故障のある人は、作業に従事しないでください。
19. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
20. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
21. くん煙中はハウス内に入らないでください。
22. 通常は夕方にくん煙を行い、翌朝ハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

**水産動植物への影響：**水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽等を置かないでください。空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管：**密封し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

#### 【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

#### 〈備考〉

- 詳しい使い方は、次ページを参照ください。

# 日曹マブリック® ジェットの使い方

煙を吸い込むとせき込みますので、  
必ず次の使用方法を守ってください。



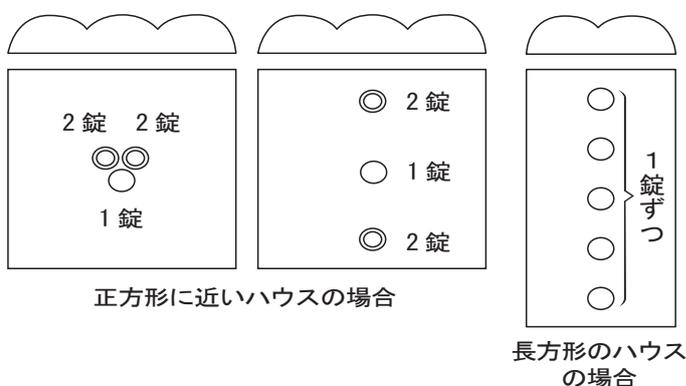
## 《薬剤の配置》

⚠ 注意

### ●平面図(図①)

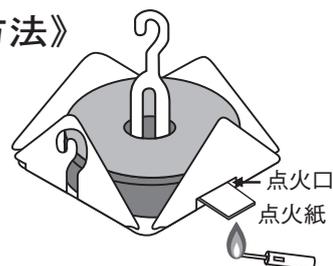
- ① 図のようにまず薬剤を中央一カ所または一列に配置してください。  
② 煙を吸い込まないために、添付の点火紙を必ず使用し、  
出入口より遠い奥の方から順に点火してください。

〈10アールハウスの場合の配置例〉  
(5錠/10アールの場合)



### 図②

## 《点火方法》



(必ず点火紙を下にしてください)  
つり具に薬剤をのせて、点火紙を点火口に正しくセットし、点火紙の先端にマッチやライターなどで点火してください。点火紙に点火後、10～15秒後に発煙します。

\*つり具の内面と外面を確認し、組み立てる  
\*点火紙と薬剤の間にすき間をつくらないように軽く密着させてください。

●ビニールなど被覆材と錠剤は、60cm以上離してください。

●重ねて使用する場合は、2錠までとしてください。この時、点火紙はつり具と錠剤の間に差し込んでください。錠剤と錠剤の間または錠剤の上に載せて点火すると、炎が出るのでさけてください。

## 《くん煙の手順》

- (1) ハウスの密閉……くん煙を始める前に、防除する室の戸や窓を閉め、密閉する。
- (2) 薬剤の配置……室の容積によって使用量を決め、煙が均一に拡散するよう薬剤を配置する。その際、周辺の可燃物を取り除いておく。くん煙する場合は、添付のつり具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。つり具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さでつり下げるか、または不燃性の台などの上のせて使用する。  
なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。  
特にビニールなど被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。
- (3) 点火・退室……点火は以下のとおりに行う。
  - ①点火紙を用いる場合  
同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさける。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。
  - ②電気式点火・くん煙装置を用いる場合  
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置する。万一炎がでた場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置する。
  - ③点火後はくん煙室に入らない。(煙を吸わないように直ちに退室する)
- (4) くん煙……くん煙は夕方から始め、翌朝までとする。(12時間以上密閉) くん煙中は、絶対にハウス内へ入らない。
- (5) ハウスの開放……翌朝、ハウス内の温度が上がる前に開放し、十分に換気した後に入室する。(特にハウス内が乾燥している時は煙が翌朝まで残る場合があるので、十分に注意する。) 換気装置がハウス内にある場合は、直接中に入らず、まず出入口をすべて開放し、十分に換気してから入室する。



煙を吸うと激しくせき込むので、十分注意してください。万一誤って煙を吸い、せき込んだ時は、直ちにハウス外に出て新鮮な空気を吸ってください。  
異常を感じた場合は医師の手当を受けてください。

《お願い》魚毒・蚕毒に関する注意事項は、他の合成ピレスロイド剤と同様に取扱ってください。

◎使用の際は、ラベルをよく読んで正しくお使いください。

●マブリックジェットの拡散性試験

マブリックジェットは、煙を吸い込むとせき込むので、その有効成分をよく拡散させ、しかも煙を吸入しない発煙法として、3点発煙法を、従来の5点発煙法と比較、検討した。

くん煙方法：くん煙を実施する前に、マブリックジェットの所定量を、点火紙とともにつり具にセットし、出入口より遠い奥の方から順に点火・くん煙した。点火後は直ちに退出し、翌朝ハウスの温度が上がる前に開放した。

試験結果

(1) スライドグラス上の薬剤付着状況

顕微鏡写真によると、3点発煙法、5点発煙法ともに、付着状況はどの地点でも差がなく、煙の拡散性が良好であることが確認された。

(2) 付着量分析

各ハウスで採集したろ紙を、メタノール 20ml を入れた試験管中に入れ、振とう抽出し、そのうち 20μl を HPLC に注入し、付着量を測定した。スライドグラスでの付着状況同様、各ハウスどの地点においても分析値に大差はなく、発煙後、有効成分がハウス全体へ良好に拡散していることが示された。

考案

3点発煙法と5点発煙法の拡散性の差を、拡散効率（ハウス面積指数×分析値指数）として比較した。

(ハウス-1)

面積 面積指数 分析値 分析値指数  
858m<sup>2</sup> 100 32.7μg 85.9

(ハウス-2)

面積 面積指数 分析値 分析値指数  
761m<sup>2</sup> 88.6 38.1μg 100

〈拡散効率〉

(ハウス-1)

100×85.9 = 8,590……指数 97.0

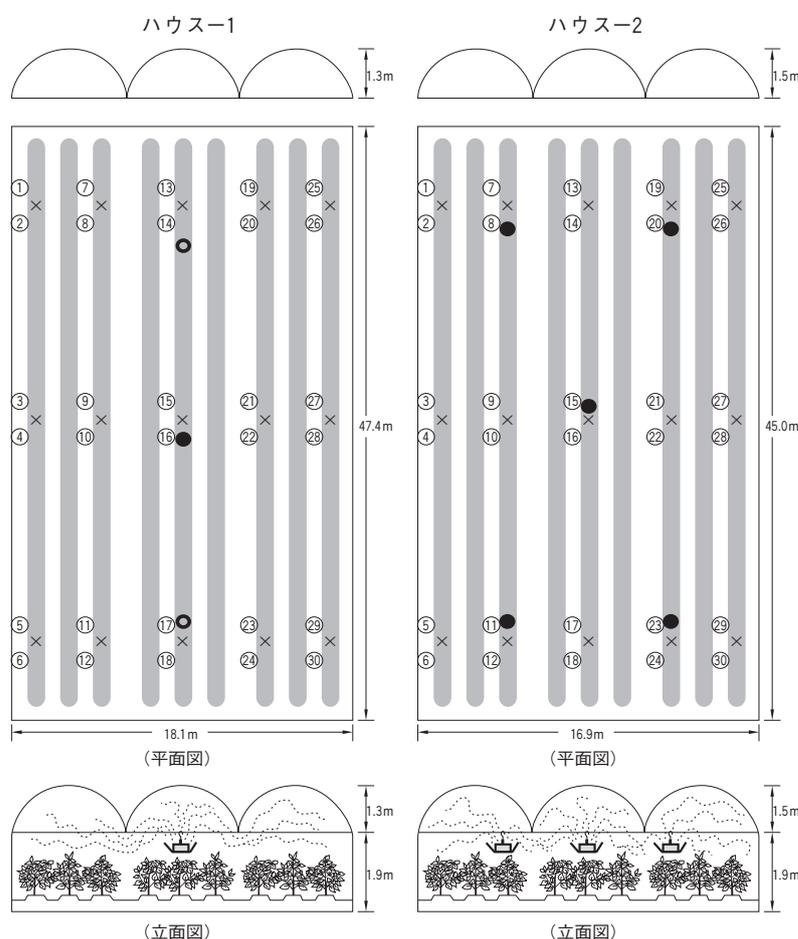
(ハウス-2)

88.6×100 = 8,860……指数 100

つまり、3点発煙法の拡散効率は97で、従来の5点発煙法と比べ、ほとんど差がなかった。

以上のことから、従来5点発煙法でくん煙させていたものを、うねに沿った縦一列の3点発煙法に変えることで、点火作業が容易になり、点火作業時に煙を吸入することなく、速やかにハウス外へ出ることができ、しかもハウスのすみずみに対する拡散も従来法とほぼ同じであることが確認された。また、なすに対する薬害も認められなかった。

ハウス内略図



●、○：マブリックジェットの発煙点  
 (●：1錠をつり具にセット)  
 (○：2錠をつり具にセット)  
 ×：薬剤の捕集地点とスライドグラス・ろ紙ナンバー